

感染予防対策

■ 感染予防対策ってなに？

風邪に代表される細菌、ウイルス、真菌などが、人から人に移っていく感染症。病院に治療に行って、違う感染症になる可能性があるということは、非常に危険なことなのです。

細菌、ウイルス、真菌などは目に見えないため、感染を予防するのは至難の業ですが、医療人として感染を防ぐことは、当たり前のモラルです。

感染予防対策とは、そういった感染から皆様をお守りする、病院を上げて取り組んでいる予防対策です。

■ こだわりの感染予防対策



～土足のフロア～

スリッパでは、水虫の感染や、前に使われた方の汗などの不快感があるとよくいわれています。ですから、土足がベストですね！



～手指の消毒～

使い捨てグローブを着用の上、十分な手洗いと噴霧式アルコール消毒を心がけています。これは、スタッフの手からの感染を予防し、皆様に安全に診療を受けていただくためです。



～器具の消毒と滅菌～

診療に用いた器具は、消毒薬を満たした超音波洗浄器で一次消毒した後、アルコール高圧蒸気滅菌器にて二次滅菌しています。



～滅菌パックで保存～

皆様にお使いする器具は、小機械類も含め、滅菌のあとパックにして保存しておき、治療時には滅菌したすぐ後と同じ、極めて清潔な状態で提供できるようにしています。



～治療用の水も除菌～

治療うがいがいなど、皆様にお使いする水は、抗菌フィルターに通して除菌しています。抗菌フィルターは、定期的に変換しています。



～換気システム～

治療中に生じるエアロゾル（歯を削った際に生じる極小の粉じん）を吸い込む口腔外バキュームが全ての治療ユニットについています。



～オペ室換気システム～

プレミアルームでは、手術室用空気清浄機（クリーンエアプラス）を用い、“清浄度クラス 10,000”の非常にクリーンで安全な空間を作り出します。



～エコ廃棄物処理～

一般ゴミとは別に、医療廃棄物は、専門の業者に処理を委託し、環境にもやさしい安全な病院を目指しています。



～使い捨ての器具～

皆様にお使いする器具、製品類は、可能な限りディスポーザブル（使い捨て）にしています。これにより、器具の再使用による院内感染を予防しています。



～第二種歯科感染管理者～

特定非営利活動法人「日本・アジア口腔保健支援機構」の試験に合格した第二種歯科感染管理者が複数名在籍しています。目に見えない細菌やウイルスによる院内感染の防止には、専門的な知識が必要不可欠です。当院では高度な知識を有する感染管理者が滅菌を担当することにより、院内感染の防止や万全の診療体制を皆様にご提供できるものと考えています。



■ 飽くなき感染予防への探求

感染予防対策のセミナーにも参加しています。

日本でも有数に感染予防対策が進んでいる東北大学病院のセミナーへの参加や、ブローネマルクオッセオンテグレーションセンターの小宮山彌太郎先生に師事し、継続的に勉強させていただいています。

